

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	禁忌語 〈修士論文及び卒論要旨〉
Author(s)	萩田, 時子
Citation	広大言語 , 6 : 87 - 87
Issue Date	1966-12-10
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00046261">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00046261</a>
Right	
Relation	



# 禁 忌 語

秋 田 時 子

要旨は、広大言語才4号、才5号に所収してありますので、ここでは簡単に述べておきます。この卒論で目的としましたことは、禁忌語という1つの言語学的現象を解明し、意味論的に解決することでした。結局現代人のいう禁忌語と原始人心性からくるそれとは、異ったものであり、前者は後者の一部を包含しているにすぎない。同じtaboo wordという表現で取り扱われている一現象も、時代を経るに従って変容しつつも尚、古いものなごりを頑強に残している。こういった現象が言語生活の中に1つの綾を生み出しているものと思われまます。

## <参考文献>

Havers : Neuer Literatur zum Sprachtabu

Ullmann : The Principle of Semantics

Bloomfield : Language

O. Jespersen : Language: 「英語の成長と構造」

Ogden Richards : 「意味の意味」

O. Jespersen : Mankind, Nation and Individual From a Linguistic point of view

Meillet : Linguistique historique et linguistique générale

Wundt : 「民族心理学」

Frazer : The Golden Bough vol. III

柳田 国 男: 「柳田国男集」 vol. 5

前 島 巖一郎: 「英独比較文法」

樺 垣 実: 「隠 語」

ク セ ジ ュ: 「意 味 論」

小 林 智 賀 平: 「英 語 学 概 論」

S. I. ハヤカワ: 「思考と行動における言語」(文責 本人)